



大成長!実りの秋

副校長 市川 愛美

いよいよ令和6年の最後の月に入ります。

猿楽小は今、1週間後に学芸会を控え、校内のいたるところで劇の練習の声や歌が聞こえてきます。子供が一つのことを成功させようと一生懸命に努力をしている姿は本当に感動的です。ぜひ学芸会で、児童の頑張りに拍手を送っていただければと思います。

学芸会以外にも、児童が大きく成長する行事・学習は、多くあります。例えば、4・5年生は11月に社会科見学に行きました。

4年生の社会科見学では、有明清掃工場に出かけました。

児童が清掃工場の技術や職員の方の注意・配慮にリスペクトをもって見学をしていた際、「おー!!」という関心や「すごい!」という賞賛を多く表していたため、「大きくなったらぜひここで働いて」と言われ、児童は照れくさそうにしていました。児童の見学態度が良かったから、優しい言葉をかけていただけました。



社会科見学のように校外の施設に行く学習は、施設の方のお話をお聞きする場面や、一般の方のいる状況もあり、「猿楽小の代表」としての態度が求められます。

5年生も、見学施設の方に礼儀正しく行動でき、帰校後に成長ぶりを校長から褒められて社会科見学を終えました。

4年生も5年生も、一つ一つの校外学習や行事を成功させた積み重ねによる、大きな成長を感じました。

また、学校外との触れ合いとして、本校の特徴の一つである、近隣の大使館との交流があります。昨年度から交流していただいているエジプト、デンマーク、セネガルに加え、今年度からマレーシア大使館も交流していただいています。

先日、マレーシア大使館の方が3年生のゲストティーチャーとして来校し、マレーシアについて教えてくださいました。その際、来日中のマレーシアのミュージシャンの方々も御一緒に、歌や演奏を披露してくださり、とても楽しいひと時になりました。

3年生は、お礼の気持ちを込め、マレーシアの紹介として教えていただいたラフレシアやトラなどの写真を使ってマレーシアの観光・紹介ポスターを作成し、児童が作った学芸会の招待状と共に有志の児童で大使館にお届けに行きました。

他の学年も、交流している大使館へ児童の作った学芸会の招待状をお届けに行きました。

最近の嬉しい変化は、感謝の言葉が増えたこと、「ありがとうございました」の一言に心がこもっている児童が増えたということです。日頃から地域・保護者の方が、学校内外で子供たちに温かく接し、共に育てていただいているおかげと感謝しております。

松下幸之助氏の言葉に「人間の幸福なり、喜びを生み出す根源ともいえるのが、感謝の心」というものがあります。感謝を表すことが上手になってきた猿楽の子供たちは、また一歩本校の目指す「自他共の幸福」に近づいていると、とても嬉しく思っています。

